

③市町村名	阿智村		④事業主体	阿智村				
事業の概要	⑥事業年度	H21年度1次補正		⑨事業完了日	平成23年3月25日			
	⑩総事業費	181,106千円		⑪補助対象事業費	180,627千円			
				⑫交付金額	68,806千円			
	⑬整備対象地域	阿智村浪合地区 全域						
	⑭条件不利地域	過疎、辺地、山村(旧浪合村全域)						
	⑮事業の内容							
<p>平成18年1月1日に編入合併した浪合村(以下は浪合地区とする)のケーブルテレビ施設は、HFC方式となっており、旧阿智村及び平成21年に編入合併した清内路村では、FTTH方式の整備を合併前に終えていることから、浪合地区のみ構築方式が異なるケーブルテレビ施設であり、浪合地区における情報の格差是正のため、FTTH方式によるケーブルテレビ網を整備した。また、浪合地区の400戸を超える別荘地では、共調施設を利用しているが、老朽化が激しく管理会社も手を付けられない状況であり、今後アナログ放送が停止すると同時に、完全デジタル難視聴地区となってしまうことから、光ファイバー網を整備し、阿智村情報化事業サービスの対象区域とした。</p> <p>また、インターネット環境では、阿智地区と清内路地区はFTTH方式による光インターネットが利用できるが、浪合地区はケーブルインターネットを使用しており、構築方法の違いから全村統一した情報サービスの提供ができず情報格差が広がっている。さらにADSLの利用もできず完全なブロードバンドゼロ地域となっていることから、FTTHによるブロードバンドサービスに必要な光ファイバー網の整備を行った。</p> <p>なお、インターネット環境においては、電気通信事業者に対しIRU契約を締結し、光ファイバ芯線の貸し付けを行っている。</p>								
BB	⑯サービス開始日	平成23年4月1日						
	⑰サービス形態	公設民営(IRU)						
	⑱契約先	東日本電信電話株式会社						
		⑲整備計画時の目標		⑳実績				
		初年度	最終	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	261	233	260	254	244	240	233
	加入世帯数	100	150	103	110	115	120	125
加入率(%)	13	19.6	39.6	43.3	47.1	47.1	53.6	
CATV	⑳サービス開始日	平成22年4月1日						
	㉑サービス形態	公設公営						
	㉒契約先	-						
		⑲整備計画時の目標		⑳実績				
		初年度	最終	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	261	233	260	254	244	240	233
	加入世帯数	342	554	391	403	394	392	388
加入率(%)	44.6	72.2	150.4	158.6	161.4	163.3	166.5	

※なお、整備地域の世帯数は阿智村浪合地区の住民基本台帳登録世帯数で、加入世帯には、別荘など住民基本台帳登録世帯以外の加入世帯も含まれるため100%を超過している。

	BB	CATV
⑳提供サービス内容及び料金	定額プラン: 5,200円(2,500円),5,700円(3,350円) 2段階プラン: 2,200円(1,900円)～5,200円(4,300円) 契約料:800円(税抜) 工事費18,000円(15,000円) ※()はマンション ※他に割引あり	サービス内容:自主放送、再放送 加入料金:52,700円(工事費、税込) 月額料金:500円(税込)
㉑これまでの加入促進の取組	平成21年11月から12月において、浪合地区を対象に、説明会を9会場で開催し、パンフレットを配布のうえ説明し加入促進を行った。 別荘では、管理事務所にパンフレットを置き、契約後に加入促進の説明を行っている。 CATVでは、住民に対して加入料金の52,700円を、3年間定住のうえ継続利用した場合は、全額返金する制度を設け加入促進を行っている。	
㉒成果	ブロードバンド環境の整備により、情報格差の解消につながった。 地上デジタル放送移行に伴う難視聴地域の解消を図れた。	
㉓効果	村内全域で高速インターネットを利用できる環境・地上デジタル放送を視聴できる環境を整備することにより、合併後の市民の一体感の醸成につながった。 なお、多チャンネルについてはHD化に伴い、ヘッドエンド機器の更新に多額の費用が掛かることから、当事業ではサービスを停止した。これにともない、オプティキャストが工事費とアンテナ及びチューナーなどの機器の費用の無償で行う加入促進を行い、加入者には同サービスを継続して利用できるとともに、新規加入につながった。	
㉔評価及び課題	加入率で見ると、ブロードバンドで19.6%の目標に対してH27で53.6%、CATVでは72.2%の目標に対してH27で166.5%となったことから、加入率では大幅に目標を更新することができた。これは、住民はもとより別荘購入者においても有意義なサービスとして、都市部と同じ情報通信とテレビの視聴環境を提供するものとして好評であり、事業の初期の目的は果たすことができた。 課題として、加入世帯数で見ると、ブロードバンドで150世帯の目標に対してH27で125世帯、CATVで554世帯の目標に対してH27で388世帯と、加入世帯数では目標に達していないこと、整備地域の世帯数が初年度の261世帯に対してH27で233世帯で減少していることから、今後も、世帯の減少とともに加入世帯は徐々に減少していくことが予想され、加入世帯の減少に合わせて、阿智村全体における料金体系について、今後検討したい。	

	BB	CATV
②⑤今後の取組 及び 方向性	IRUで公設民営による運営により、加入世帯を着実に増やしてきた。今後も同じ形態でサービスを維持していきたい。	1週間の情報を伝える「ウィークリーニュース」や健康への取り組みとして「あち健康テレビ21」を開始するなど独自チャンネルの充実を図っている。 データ放送では火事や防犯情報などの緊急情報をテロップで配信し、スマートフォンアプリでからでも、データ放送の情報を見れるようにしたことで、情報伝達手段の多面化を図り、災害時における情報伝達手段としても、向上している。 今後は、旧阿智地区と浪合地区間で災害に備えた、第二受信点の整備を行いたい。